



根室産業クラスター創造研究会



産業クラスターとは？

根室産業クラスター創造研究会は、根室市の産業の発展と経済基盤の強化を目指し、平成11年3月に設立されました。

多用な資源に恵まれた根室で新産業を生み出し、地域活性化につなげるべく、これまで多くの市民が様々な分野で活動しています。

主な活動

根室産業クラスター創造研究会は、総会で承認された研究グループに対し、助成金を交付し、研究活動を支援しています。

この他、当研究会の普及啓蒙活動による新規研究グループの立上げや道内関係機関と連携し、研究活動の活性化を図っています。

プロジェクト紹介 (令和元年度以降の事業紹介)

牧場の多面的期の研究グループ

設立/平成13年度から現在も活動中

目的/牧場の多面的機能を活用した環境資源、生活、文化的ストックを提供する場としてフットパスを提供し、根室滞在型観光の目玉とする。

成果/廃線になった鉄路を活用し、約7kmのフットパスを整備し、酪農地帯の新たな魅力として提案・発信しています。



根室スイーツ研究グループ

設立/平成19年度から令和2年度まで

目的/菓子技術の伝統を継承し、共同した取り組みを行なうことで、根室スイーツのブランド化を模索する。

成果/根室スイーツマップやロゴを作成し、昆布などの地場産品を使用した、「ねむロール」や「根室ラスクマン」などを開発し、販売した。



根室燻製加工研究グループ

設立/平成26年度から令和元年度まで(現在は活動休止中)

目的/根室市の基幹産業である水産業や畜産業はほとんどが生体取引で行われており、加工まで手掛けることによって付加価値を高めるため、根室市水産加工振興センター等と協力し、燻製製品の開発を行い、漁業と水産加工業、畜産業の活性化を図る。

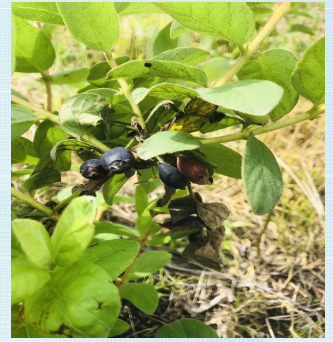
成果/ベーコンとサクラマス、ヤナギダコの燻製化の製造技術を確認させ、令和2年度に市内水産加工会社へサクラマスとヤナギダコの燻製化の技術移転に向けて協議が行われ、市内水産加工業者へレシピを提供した。

根室ベリー研究グループ

設立/平成29年度から現在も活動中

目的/根室の特性を生かしたベリー類の栽培育成、または育種を目的とした研究を行い、商品の開発、市内飲食店・菓子店に対する新しいアプローチを提案する

成果/根室で自生している品種の収量性や収益性についての研究及び、自生場所の土壌研究や増殖条件など根室の気候に適した育成条件について研究を行う。

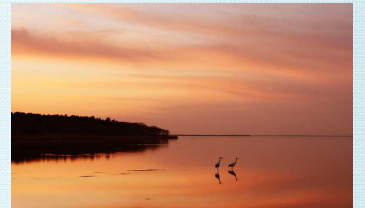


グランピング研究グループ

設立/平成29年度から令和3年度まで

目的/交流・移住人口増加に寄与する根室の環境や自然を体感できるグランピング(宿泊施設)事業を研究する。

成果/自然豊かな根室ならではのグランピングを体感することで、交流人口の増加、根室の活性化へ繋げるため、グランピングに適した土地を選定し、整備を行った。

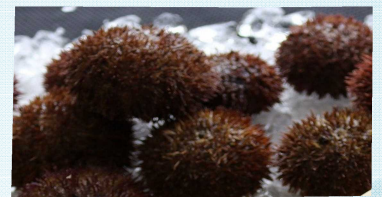


循環型社会と地域創生の実現へ向けた研究グループ

設立/令和2年設立から現在も活動中

目的/地域課題解決へ向け、地域の特徴を生かした新たな価値を生み出す人材と産業を創出するための方策を研究する。

成果/現在多くが廃棄されているウニ殻を、効果的な肥料の生産・流通について研究することで、循環型社会へ繋がる産業振興を図る。



オンラインサロン研究グループ

設立/令和2年度から現在も活動中

目的/地方都市ならではのICT活用、地元企業の情報発信力、サービス・生産性向上につながる研究を行う。

成果/地域の人口・市場規模が小さいことで収益が見込めずICTの活用・導入が出来ていないため、オンラインで都市部と地方をつなぐ同郷ネットワークを構築し、地方ならではのICTの活用方法を研究中。

シーズ発掘・育成グループ

設立/平成27年度から現在も活動中

目的/中小零細企業や個人経営者等が商品開発や技術改良を目的とした研修に参加する際、旅費の一部を助成することにより、シーズの掘り起こしとその実用化に向けた支援を行う。

成果/平成29年に国内外の交流・新商品開発・地元市民が集まる拠点として開設された江別市のEBRIを視察し、根室における類似施設開設の可能性や、あらゆる視点から、根室の地域産業活性化のヒントを探った。

新規ワーキンググループを募集しています！

根室産業クラスター創造研究会では、新規ワーキンググループの立上げを募集しており、立上げまでの支援を行っています。

将来、根室市の産業に繋がると考えられる研究対象について、先進地視察の実施や産・学・官・金等が連携して支援を行います。

根室市で起業化となりえる研究テーマをお持ちの方は下記事務局までお気軽にご相談ください。

○新規グループ立上げイメージ

1. 研究テーマ発案

事業化まではノウハウの不足や効率化などの課題はあるものの、一定の需要が見込まれるテーマであり、研究意欲がある事が条件です。

2. メンバー集め

研究を進めるうえで必要な人材や、事業化を見据えて必要な知識、スキルを持った人材を確保し、協同で研究を進めるグループを結成します。

※上記1または2の段階で事務局までご相談ください。

根室産業クラスター創造研究会への参加までに必要な事項をアドバイスいたします。

3. 先進地視察

相談いただいたテーマが研究を進めるに値すると判断した場合に、研究会に参加のうえ先進地視察を行うことができます。

4. 課題の整理

根室産業クラスター創造研究会参加後に研究する内容、方法について検討し、研究に関わるスケジュールや予算を作成します。

5. 新規ワーキンググループの立上げ

根室産業クラスター創造研究会総会において新規ワーキンググループの立上げについて説明を行い、承認されることでワーキンググループが立ち上がります。

6. 根室産業クラスター創造研究会への参加

根室産業クラスター創造研究会の一員として、先進地視察や試行、分析をなどの研究を行い根室市の産業の発展、経済基盤の強化を目指して活動します。総会の場で研究の進捗報告を行い、年度計画の承認を受けます。年度途中には事務局へ年度計画の進捗を報告します。研究内容に応じて専門機関からアドバイスを受けることが出来ます。

根室産業クラスター創造研究会 事務局

根室市総合政策部総合政策室(北海道根室市常盤町2丁目27番地)

TEL:0153-23-6111

FAX:0153-24-8692

e-mail:sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp